

# 東京剣連だより

Tokyo Kendo Federation News



第98号

第65回東京剣道祭日本剣道形演武



第61回東京都居合道大会奨励賞



第65回東京剣道祭杖道演武

剣道人口回復に向けて	西山 貢	1
事故防止のため倫理について再認識を	倫理委員会	2
新役員		3
令和6年度事業報告		6
令和6年度決算		7
令和7年度予算		8
加盟団体の段位別・登録者集計報告		9
東京都剣道段位別受審者(申込者)数の推移		10
大会記録・報告		11
都知事を表敬訪問		16
審査会報告		17
麻醉のお話し(1)	荻原幸彦	21
居合道部会活動報告	伊藤繁男	24
杖道部会活動報告	小林正明	24
支部活動報告		25





# 剣道人口回復に向けて

一般財団法人東京都剣道連盟  
広報委員長

西山 貢

コロナ禍によって激減した剣道人口も、徐々に回復しつつあります。しかし、コロナ前に戻るだけでは十分とはいえません。さらに増やすために、どのような手を打てばいいのでしょうか。

これまでも、大会や剣道祭などのイベントを開催し、多くの方に来ていただき、マスコミなどを通じて周知を図ってまいりました。しかし、最近の情報伝達の手法は大きく変わってきています。マスコミなどよりも、SNS (Social Networking Service) などのソーシャルメディア、ネットを使った口コミが、伝達速度も速く、より広範囲な影響を持つようになってきました。先の兵庫県知事選挙の結果がそのことをはっきりと示しました。

剣道の段位別受審者の数の推移をみると、初段受審者の数が伸び悩んでいるのが分かります。つまり新しい人が入ってきていないということです。特に剣道を知らない若い方たちに、剣道について興味を持っていたかなければならないのです。そのためにはSNSをもっと活用する必要があります。

ある会社が18歳から27歳のいわゆる「Z世代」に調査したところ、「普段よく目にする広告」で一番多かったのがSNS広告で72%、次いで動画広告51%、テレビ広告37%と続き、新聞広告は10%、雑誌広告は5%でした。主要SNSのユーザー数は、昨年時点でLINEが9700万人、YouTubeが7370万人、X (旧 Twitter)

が6700万人ということです。10代から30代の方たちは95%以上が上の二つを利用しています。また、他の調査で、若い世代でSNSしか見ないという人が63%に上るという結果も出ています。

こうした状況の中で、若い人たちに剣道を知ってもらい、始めてもらうには、SNSをもっと活用しなければなりません。「東京剣連だより」の裏表紙にはホームページのQRコードを入れています。京都での全日本剣道演武大会では5月2日の開会式から始まって4日までのすべての演武をYouTubeでライブ中継し、その録画はいつでも見ることができるようになっています。このような例をもっともっと増やしていかなければなりません。

SNSの活用方法を熟知しているのは、SNSを使いこなしている若い世代の方たちです。剣道人口をさらに増やすためには、若い方たちの知恵をもっと引き出すことができるような体制を作る必要があります。

SNSの強みは、自分が受けた情報をコピーし、転送することによって他の人にも広めることができることです。剣道連盟の会員の方たちにも、自分たちのやっている剣道・居合道・杖道が、いかに楽しい、面白い、いいものであるかを自らも積極的に発信し、ほかからの情報を転送していただきたいと思います。剣道人口の増加、剣道の発展は、若い会員の方たちの双肩にかかっているのです。

# 事故防止のため倫理について再認識を

一般財団法人東京都剣道連盟 倫理委員会

令和7年1月に、某加盟団体で剣道指導中に木刀による殴打事案が起きました。某道場の指導者が同道場生徒である小学1年の女子に、同人の頭頂部を同人が着用していた面の上から手に持っていた木刀で1回殴打するなどし、その結果、症状の継続が一ヶ月程度見込まれ、約半年間の加療を要する頭部打撲、脳震盪及び約1年間の経過観察を要する脳震盪後症候群の傷害を負わせました。被害者の親が警察に通報し、警察は現場検証と加害者に対する事情聴取を行いました。

全剣連からの通報により、倫理委員会としては会長からの諮問を受け、複数の関係者及び当事者からの事情聴取を行った上、3月初めに加盟団体が当該指導者を除名処分とした後に、当該指導者に対して弁明の機会を与えた上で登録会員資格停止2年間の処分を会長に答申し、会長は答申通り処分を決定しました。東剣連の綱紀規程には処分として除名、登録会員資格の停止、自主返納勧告、返上、そして厳重注意があり、また期間も一定期間から永久まであります。が、本人の反省度等を総合的に考慮しました。

本件の事実調査を行った過程で明らかになった事があります。それは当該道場では常日頃からパワーハラスメントを疑われてもやむを得ない怒号が生徒に浴びせられていたことです。したがって、事

故は起こるべくして起こったといえます。

1件の重大事故の背後には29件の軽微な事故と300件の事故の一手前前の出来事がある、というハインリッヒの法則があります。今回のような重大事故の背後には30件近い軽微な事故や事故に至らない出来事があったはずで、その時点で思い切った対策を講じておけば、重大事故は未然防止できたといえましょう。

今回の事案を受けて東剣連としては会長名で、第一に加盟団体・役員等に対し、本件に関する通達を出しました。第二に対象者が所属する加盟団体にに対し、ガバナンスの改善書簡を出しました。第三に令和7年度の各ブロック講習会等における倫理講話では本事案の教訓と対策について説明し、また倫理に関する動画コンテンツをホームページに掲載する事を検討中です。なお既に令和6年度末に行われました理事・評議員会及び令和7年度6月に改選された理事会では、本事案を紹介し対策等について講話を行いました。

会員個々人におかれましては、パワー・ハラスメントやセクシャル・ハラスメントといった反倫理行為の芽を早く摘むために、指導者や剣道家一人一人が自らの稽古や稽古外での振る舞いを見直してほしいと思います。

## 一般財団法人東京都剣道連盟

## 令和七・八年度新役員

(順不同・敬称略)

## 《理事》

会長 千葉胤道

副会長 久保木 優

同 西川 清紀

同 玉井 知次

専務理事 宮林 高夫

常任理事 吉岡 成子

同 右田 重昭

同 石井 猛

同 恩田 浩司

同 平尾 泰

理事 大島 正稔

同 島崎 厚二

同 岡田 守正

同 鎌田 幹雄

同 阿出川 篤範

同 大和 忠廣

同 三浦 和人

同 濱野 和男

同 大里 史織

同 徳竹 良男

同 田口 昌宏

同 門野 政人

同 市川 学

監事 外山 卓夫

同 松本 高明

## 《評議員》(順不同・敬称略)

宇賀神 良博(千代田)・片野 幸司(中央)

鎌田 弘一(台東)・矢光 善美(文京)

植田 光寿(墨田)・足立 至弘(江東)

伊垣 誠(葛飾)・風間 順一(江戸川)

西村 和美(足立)・清水 宣治(新宿)

梶井 好文(中野)・板井 光敏(杉並)

山田 博志(渋谷)・柏木 伸一(世田谷)

相川 博(港)・笠原 裕明(品川)

高平 とよ子(目黒)・大巻 直人(大田)

山口 正徳(豊島)・賀集 映二(北)

河上 一夫(荒川)・津坂 宗克(板橋)

高木 博通(練馬)・青木 健(西東京)

遠藤 護人(西東京)・岡本 和明(警視庁)

佐藤 国隆(皇宮)・新村 浩志(法務)

村上 和彦(自衛隊)・東 洋二(消防庁)

近藤 喜隆(交通局)・柳 田 要一(学連剣)

金成 増彦(学クラブ)・天野 康寿(高体連)

伊藤 繁男(居合道)・藤崎 興朗(杖道)

木村 孝治(中体連)

《顧問》(順不同・敬称略)

岡村 忠典・山本 泰人

宮坂 信之・加藤 浩二

太田 忠徳・渡邊 哲也

田中 一穂

《相談役》(順不同・敬称略)

伊藤 元明・矢野 博志

太田 健一郎

## 《審議員》(順不同・敬称略)

梯 正治・中田 琇士

大久保 康一・下枝 堯

畠中 篤美・濱崎 満

遠藤 正明・釣賀 敏郎

松下 吉進・袴田 大蔵

各担当委員

(〇)委員長、(〇)副委員長

総務委員 〇宮林高夫・吉岡成子

右田重昭・石井 猛

恩田浩司・平尾 泰

事業委員 〇右田重昭・〇石井 猛

〇平尾 泰・大島正稔

鎌田幹雄・大和忠廣

濱野和男

審判委員 〇石井 猛・〇右田重昭

〇平尾 泰・島崎厚二

岡田守正・阿出川篤範

三浦和人

審査委員 〇恩田浩司・〇吉岡成子

大里史織・徳竹良男

田口昌宏・門野政人

市川 学

財務委員 〇吉岡成子・〇恩田浩司



倫理委員 ◎太田文雄・佐藤穂貴

佐々木雅一・寺嶋愛子

医学委員 ◎荻原幸彦・塚原清彰

前田秀将・越智小枝

辻 収彦

女性委員 ◎吉岡成子・大里史織

寺地里美・井上まゆみ

大崎香織・野崎由起子

関塚洋子

IT委員 ◎柳田要一・藤井幹雄

藤野 靖・河野達朗

福島浩司

広報委員 ◎西山 貢・大岡澄夫

目黒秀治・柳 徹

藤野 靖

## 東京都剣道連盟杖道部会

## 令和七・八年度新役員

(順不同・敬称略)

監 顧

事 問

草野 祐太郎  
野 靖之・石田 祐子  
平岡 光男・古川 瞬也  
椎屋 洋・大里 耕平  
荒井 洋

会 長 小林 正明

副 会 長 藤崎 興朗

理 事 長 平木 茂

常任理事 椿 二三夫・森 井美津男

三 浦 康典・藤 原敏成

江 角 和敏・宗 形力夫

堀 克明・宇 都 榮子

青 木 卓弥・高 山 一三

事 務 局 長 松川 岳央

会 計 田 村 のり子

理 事 田 中 遼太郎・菅 沼 益

上 野 道成・賀 集 映二

笠 原 忠幸・佐 藤 健一

杉 山 定次・高 羽 知 紀

村 上 忠義・河 村 豪 祐

神 屋 善四郎・寺 門 重 光

竹 内 正幸・星 公 久

厚 靖 雄・志 賀 亮 紀

矢 口 真知子・中 村 理恵子

堀 克明・西 山 貢

築 場 正明・入 江 美 雪

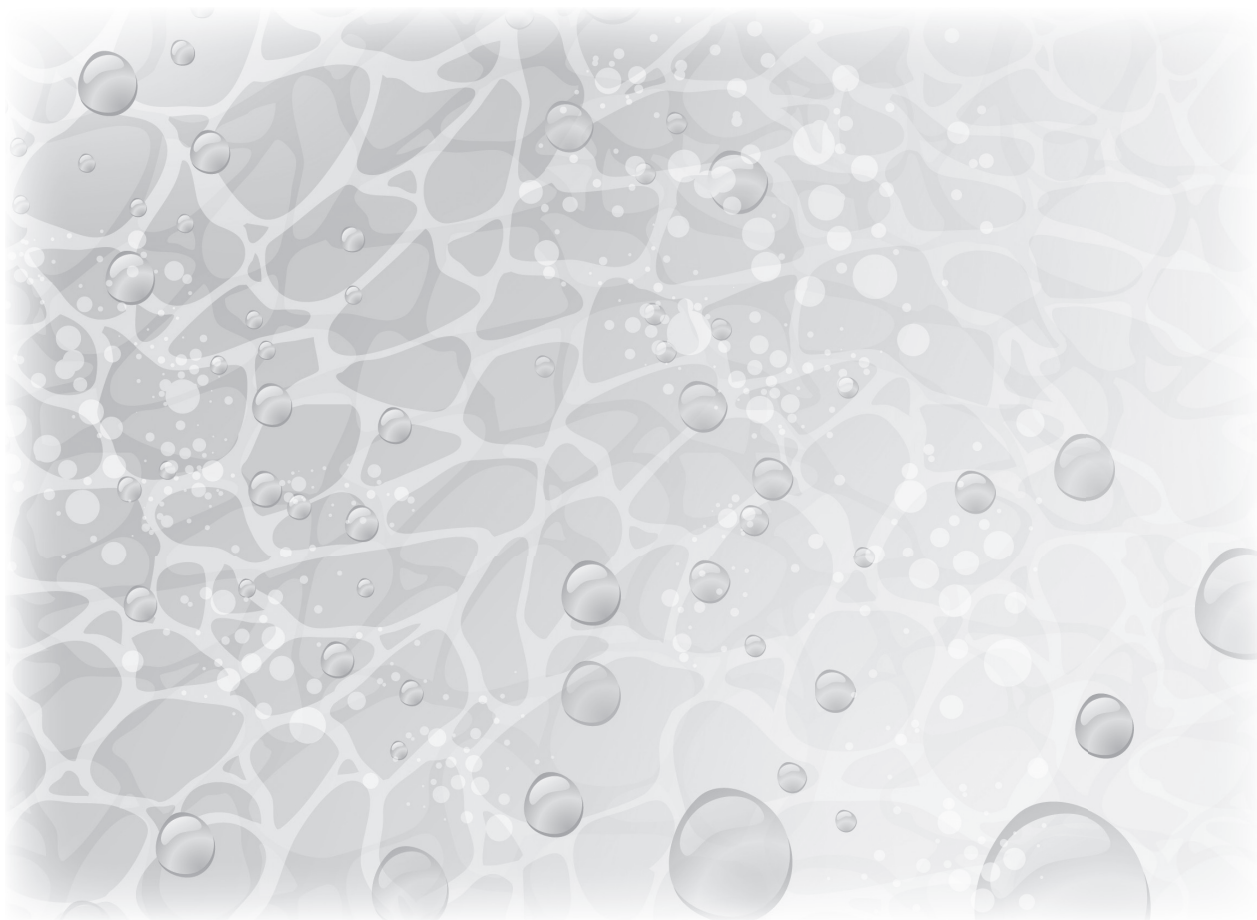
竹 俣 松夫・澤 本 則 男

市 村 文康・田 中 慎一郎

佛 井 理恵・大 場 俊 賢

河 辺 喜隆・山 崎 潤

横 尾 正和・田 村 岳 洋





## 令和6年度事業報告

〔4月〕

6日(土) 東京都居合道大会 582名参加

6日(土) 女子剣道審判講習会 99名参加

6日(土) 女子剣道稽古会 60名参加

7日(日) 東京剣道祭 1024名参加

14日(日) 国スポ選手選考会 364名参加

22日(月) 剣道合同稽古会 70名参加

27日(土) 剣道四・五段審査会 482名参加

〔5月〕

12日(日) 都民体育大会 41区市参加

12日(日) 全日本都道府県対抗女子 94名参加

19日(日) 剣道優勝大会予選会 33名参加

19日(日) 剣道高段者稽古会 70名参加

21日(火) 国スポ二次選考会 33名参加

25日(土) 東京都女子年齢別剣道大会 265名参加

〔6月〕

15日(土) 剣道講師要員研究会 50名参加

15日(土) 居合道審判実技講習会 216名参加

〔7月〕

6日(土) 女子剣道稽古会 60名参加

6日(土) 全日本都道府県対抗少年 87名参加

7日(日) 剣道優勝大会選手選考会 50名参加

8日(月) 全日本居合道大会予選会 67名参加

13日(土) 剣道六・七段受審者講習会 83名参加

13日(土) 剣道登録審査要員等研修会 240名参加

27日(土) 女子剣道講習会 46名参加

27日(土) 東京都杖道大会・東京杖道祭 308名参加

29日(月) 剣道合同稽古会 57名参加

〔8月〕

3日(土) 剣道四・五段受審者講習会 84名参加

3日(土) 剣道登録審査要員等研修会 145名参加

24日(土) 国体関東ブロック大会 24チーム参加

〔9月〕

26日(月) 剣道合同稽古会 69名参加

7日(土) 東京都剣道選手権大会 195名参加

7日(土) 寛仁親王杯剣道 八段選抜大会 32名参加

8日(日) 東京都青年剣道大会 男子34区市参加

8日(日) 東京都青年剣道大会 女子23区市参加

8日(日) スポーツ フェスティバル東京 35区市参加

14日(土) 東京都女子剣道選手権大会 94名参加

15日(日) 剣道合同稽古会 91名参加

21日(土) 女子剣道稽古会 57名参加

21日(土) 居合道伝達講習会 291名参加

22日(祝) 杖道指導者審判講習会 119名参加

28日(土) 居合道四・五段審査会 97名参加

29日(日) 剣道八段受審者講習会 106名参加

〔10月〕

21日(月) 剣道合同稽古会 73名参加

24日(木) シニア健康スポーツ フェスティバル TOKYO 251名参加

26日(土) 杖道四・五段審査会 50名参加

〔11月〕

25日(月) 剣道合同稽古会 74名参加

30日(土) 剣道四・五段審査会 785名参加

〔12月〕

11日(水) 授業協力者養成講習会 42名参加

22日(日) 東京都形剣道大会 76チーム参加

23日(月) 剣道合同稽古会 71名参加

令和7年

〔1月〕 27日(月) 剣道合同稽古会 99名参加

〔2月〕

1日(土) 剣道四・五段審査会 498名参加

2日(日) 東京都剣道大会 45加盟団体参加

8日(土) 全日本都道府県対抗 剣道優勝大会予選会 187名参加

## 令和6年度剣道・居合道・杖道四・五段審査会の結果

	年月日	段位	受審者	実技合格者	形・学科不合格者	合格者	合格率	再受審者	再受審合格者
剣道	R6.4.27	四	221人	86人	1人	85人	38.5%	6人	6人
		五	261	56	4	52	19.9	3	2
	R6.11.30	四	455	187	11	176	38.7	1	1
		五	330	86	3	83	25.2	3	3
	R7.2.1	四	268	126	4	122	45.5	9	9
		五	230	81	0	81	35.2	4	4
居合道	R6.9.28	四	60	24	1	23	38.3	1	1
		五	37	15	1	14	37.8	0	0
	R7.3.22	四	48	12	0	12	25.0	1	1
		五	30	11	0	11	36.7	1	1
杖道	R6.10.26	四	28	13	0	13	46.4	0	0
		五	22	12	0	12	54.5	0	0
	R7.3.15	四	26	18	0	18	69.2	0	0
		五	13	3	0	3	23.1	0	0

〔3月〕

8日(土) 女子剣道稽古会 48名参加

16日(日) 杖道指導者審判講習会 103名参加

22日(土) 剣道八段受審者講習会 87名参加

22日(土) 剣道合同稽古会 95名参加

15日(土) 杖道四・五段審査会 39名参加

20日(祝) 東京都少年剣道大会 42チーム参加

20日(祝) 剣道高段者稽古会 40名参加

20日(祝) 剣道合同稽古会 130名参加

22日(土) 居合道四・五段審査会 78名参加

## 令和6年度収支計算書内訳表

(単位：円)

科 目	一般会計
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
基本財産運用収入	1,698
特定資産運用収入	12,027
会費収入	13,488,000
事業収入	103,107,890
普及費収入	2,713,200
講習会事業収入	2,934,900
大会費収入	6,513,200
審査等参加料収入	47,839,169
登録料収入	43,107,421
補助金等収入	7,656,142
雑収入	1,095,168
事業活動収入計	125,360,925
2. 事業活動支出	
事業費支出	67,137,580
指導普及事業支出	4,931,463
講習会事業支出	5,219,010
育成強化事業支出	7,780,973
大会事業支出	32,950,426
大会派遣事業支出	3,932,141
審査会事業支出	11,980,826
功労者表彰事業支出	342,741
管理費支出	57,986,285
人件費支出	29,792,398
会議費支出	6,477,534
物件費支出	6,397,871
租税公課支出	9,296,590
支払保険料支出	23,900
分担金支出	3,140,000
雑費支出	2,857,992
事業活動支出計	125,123,865
事業活動収支差額	237,060
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	
特定資産	2,333,150
固定資産取得支出	778,800
投資活動支出計	3,111,950
投資活動収支差額	△ 3,111,950
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
当期収支差額	△ 2,874,890
前期繰越収支差額	262,667,911
次期繰越収支差額	259,793,021



## 令和7年度収支予算書内訳表

(単位：円)

科目	一般会計
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
基本財産運用収入	75,000
特定資産運用収入	69,000
会費収入	13,520,000
事業収入	110,436,397
普及費収入	2,948,000
講習会事業収入	3,000,000
大会費収入	6,439,300
審査等参加料収入	50,056,075
登録料収入	47,993,022
補助金等収入	8,335,000
雑収入	460,000
事業活動収入計	132,895,397
2. 事業活動支出	
事業費支出	69,364,000
指導普及事業支出	4,602,000
講習会事業支出	5,150,000
育成強化事業支出	8,663,000
大会事業支出	33,860,000
大会派遣事業支出	4,169,000
審査会事業支出	12,120,000
功労者表彰事業支出	800,000
管理費支出	62,320,000
人件費支出	32,240,000
会議費支出	7,000,000
物件費支出	7,290,000
租税公課支出	10,100,000
支払保険料支出	50,000
分担金支出	3,140,000
雑費支出	2,500,000
事業活動支出計	131,684,000
事業活動収支差額	1,211,397
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	
特定資産	2,783,600
投資活動支出計	2,783,600
投資活動収支差額	△ 2,783,600
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
IV 予備費支出	0
当期収支差額	△ 1,572,203

## 令和 6 年度加盟団体の段位別・登録者集計報告

昨年度は各団体皆様のご理解とご協力により、団体別・段位別登録者数が明確になりました。  
感謝申し上げます。

この表を基に更に剣道人口の増加を目指し、一層の普及振興にご尽力いただきたいと思います。

令和7年3月31日現在(単位:人)

	初段	(前年比)	二段	(前年比)	三段	(前年比)	四段	(前年比)	五段	(前年比)	六段	(前年比)	七段	(前年比)	八段	(前年比)	6年度	(前年比)
千代田	54	8	56	10	75	▲11	105	▲11	89	▲8	97	▲6	127	2	3	▲2	606	▲18
中 央	38	▲2	44	8	90	▲19	105	▲2	79	0	37	▲10	80	6	2	▲1	475	▲20
台 東	33	▲8	45	▲3	56	▲5	29	1	39	▲1	39	▲1	41	5	3	0	285	▲12
文 京	71	6	56	7	38	5	38	11	35	▲1	22	0	32	▲2		0	292	26
墨 田	30	▲7	29	3	54	10	40	▲1	32	▲3	23	▲3	36	7		0	244	6
江 東	39	2	30	▲20	32	2	40	2	42	▲2	39	5	37	▲1	2	0	261	▲12
葛 飾	48	10	41	▲2	65	9	58	▲2	70	0	60	4	67	1		0	409	20
江戸川	79	▲10	62	▲3	50	▲17	70	5	54	▲9	62	4	54	2	4	0	435	▲28
足 立	67	▲6	67	0	95	6	67	▲6	60	0	71	▲2	85	▲1	5	1	517	▲8
新 宿	53	▲1	61	9	79	7	26	▲4	25	▲7	40	0	64	3	5	0	353	7
中 野	52	▲27	62	▲8	44	▲10	42	▲1	68	▲14	62	▲3	79	1	5	▲1	414	▲63
杉 並	88	▲15	112	0	69	0	50	▲2	54	1	52	▲1	81	1	2	0	508	▲16
渋谷	35	▲3	43	▲1	35	10	40	8	51	4	41	1	59	4	1	0	305	23
世田谷	128	2	96	▲32	104	▲5	83	▲2	78	▲5	62	6	85	0	8	0	644	▲36
港	62	▲27	78	4	42	▲4	67	13	31	▲11	37	2	51	2	3	0	371	▲21
品 川	34	▲12	31	▲2	28	1	36	1	48	3	47	0	53	0	3	0	280	▲9
目 黒	59	15	35	▲2	35	▲3	42	7	42	▲5	28	2	47	4	1	0	289	18
大 田	83	12	63	▲7	82	▲3	92	▲1	95	▲4	70	2	114	5	2	0	601	4
豊 島	138	▲63	103	▲8	57	▲13	44	▲3	25	5	31	▲5	48	1	1	0	447	▲86
北	57	▲38	71	9	54	▲1	52	1	43	▲5	50	3	70	1		0	397	▲30
荒 川	22	▲5	18	▲2	24	1	28	▲3	39	2	19	▲1	40	0		0	190	▲8
板 橋	130	54	66	6	94	5	93	0	65	▲4	77	▲2	109	4	6	0	640	63
練 馬	104	▲15	138	▲6	122	▲1	96	6	66	▲17	77	2	99	5	1	0	703	▲26
西東京	744	▲63	772	12	569	3	526	7	488	▲51	511	34	724	43	15	▲1	4,349	▲16
警視庁	1,006	▲101	872	▲113	642	▲16	702	26	843	20	354	28	363	25	41	3	4,823	▲128
皇 宮	109	20	111	1	143	▲9	37	3	17	▲3	18	1	16	3	5	0	456	16
法 務	10	▲3	18	1	35	9	85	6	75	0	42	▲5	48	▲2		0	313	6
自衛隊	12	▲1	10	▲2	25	▲5	29	▲1	25	▲1	33	▲3	54	3	3	1	191	▲9
消防庁	6	▲2	16	▲6	71	▲11	53	▲6	34	▲6	33	▲1	47	0		0	260	▲32
交通局	17	0	29	0	52	▲2	30	▲2	25	0	20	▲2	38	0		0	211	▲6
学連剣	0	0	2	1	8	▲4	26	4	33	▲4	42	▲4	98	4	16	0	225	▲3
学生ク	116	32	179	14	738	46	228	▲36	1	1		0		0		0	1,262	57
高体連	482	▲23	1,402	43	1,030	25	11	▲2	18	2	32	1	41	5	4	0	3,020	51
居合道	217	21	241	21	277	▲15	237	3	237	19	142	▲4	148	▲1	11	1	1,510	45
杖 道	100	26	93	▲1	116	▲25	90	11	102	1	60	▲1	45	2	14	1	620	14
計	4,323	▲224	5,152	▲69	5,130	▲40	3,397	30	3,128	▲103	2,430	41	3,180	132	166	2	26,906	▲231

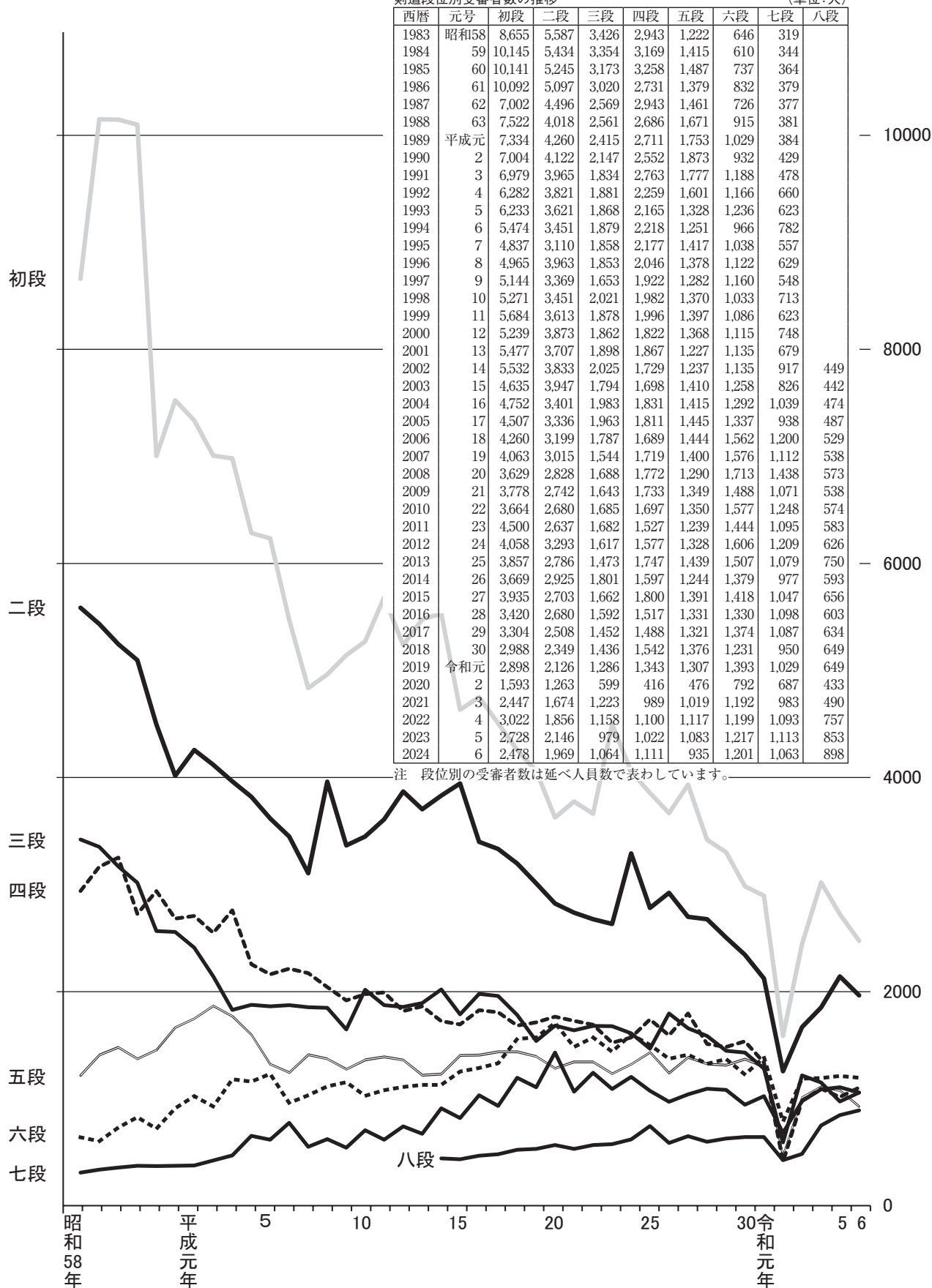
※各段位の右側の数字は前年度との会員数増減を記載しており▲は減を表わしています。



# 東京都における剣道段位別受審者(申込者)数の推移

剣道段位別受審者数の推移

(単位:人)



# 大会記録

## 第二十回東京都形剣道大会

令和6年12月22日

於 新宿スポーツセンター

### 三段以下の部

優勝 清水 大稀 (警視庁)

第二位 菅原 瑛仁 (高体連B)

第三位 福島虎太郎 (高体連B)

第三位 熊上 航琉 (自衛隊)

第三位 木村 政彦 (自衛隊)

第三位 木邑 菜緒 (台東)

敢闘賞 大和田 恵 (台東)

中嶋 諒 (江戸川)

松本 脩佑 (江戸川)

### 四・五段の部

優勝 上条 将己 (警視庁)

第二位 谷 広大 (警視庁)

第二位 田中亜琉伝 (西東京A)

第三位 森岡 潤家 (西東京A)

第三位 堀内 理 (大田)

第三位 小林 宏文 (大田)

第三位 本田喜久雄 (自衛隊)

敢闘賞 上野 竜也 (自衛隊)

橋本 侑樹 (足立)

田代 勇貴 (足立)

### 六・七段の部

優勝 松沢 辰彦 (警視庁)

第二位 海保 浩孝 (警視庁)

佐々木 豊 (江戸川)

山崎 龍一 (江戸川)

### 総合成績

優勝 警視庁剣道連盟

第二位 西東京剣道連盟A

第三位 東京都自衛隊剣道連盟

第三位 船谷 幸子 (西東京A)

第三位 片江 由美 (西東京A)

中井 哲慈 (西東京B)

中井 尚子 (西東京B)

敢闘賞 佐々木裕太 (新宿)

松崎 織江 (新宿)



第20回東京都形剣道大会日本剣道形演武

## 第七十三回東京都剣道大会

令和7年2月2日

於 東京武道館

### 準々決勝

警視庁A 4-0 学連剣

西東京A 1-3 警視庁C

警視庁B 5-1 西東京C

法務 1-5 皇宮

### 準決勝

警視庁A 4-1 警視庁C

警視庁B 5-1 皇宮

### 決勝

警視庁A 5-0 警視庁B



第73回東京都剣道大会優勝チーム警視庁

## 第七十三回全日本都道府県対抗剣道優勝大会東京都予選会

令和7年2月8日

於 東京武道館

### 大将の部

優勝 原田 悟 (警視庁)

第二位 田中 孝和 (渋谷)

### 副将の部

優勝 岩川 力 (港)

第二位 本川 耕平 (港)



第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会  
東京都予選会各部門優勝者



## 優秀選手

中学生

於 東京武道館

## 第二十回東京都少年剣道大会

令和7年3月20日

## 三将の部

優勝 宮本 敬太(警視庁)

第二位 阿部 壮己(警視庁)

## 中堅の部

優勝 村富 聖気(学剣連)

第二位 外山 大樹(学剣連)

## 五将の部

優勝 佐藤 大洋(千代田)

第二位 松下 聖(法務)

## 次鋒の部

優勝 浦井進太郎(専修大)

第二位 小山 真央(日大)

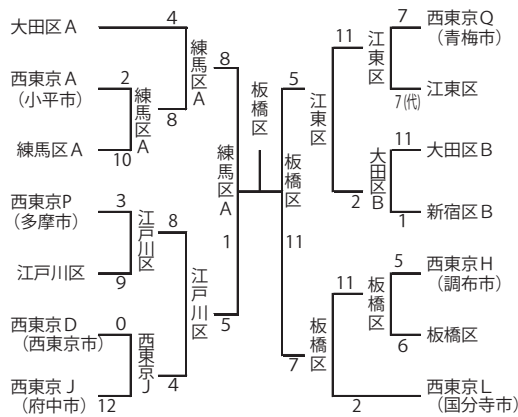
## 先鋒の部

長谷川 秀吾(高体連推薦)

## 五・六年生

山本 佳奈(練馬区)  
杉本 泰誠(府中市)  
伊藤 月詩(青梅市)  
権瓶 力毅(板橋区)

天内 一乃(大田区)  
川瀬 理渡(練馬区)  
才津 郁翔(府中市)  
平澤 璃乃(江戸川区)  
沖山 丈(江東区)  
鈴木 瑛斗(江東区)  
権瓶 美咲子(板橋区)  
佐藤 希風(板橋区)



第20回東京都少年剣道大会  
木刀による剣道基本技稽古法試合



第65回東京剣道祭範士の部演武

## 四年生以下

林 晏次郎(大田区)

飯蓋 蓮佳(江東区)

悠莉(板橋区)

飯蓋 蓮佳(江東区)

## 第六十五回東京剣道祭

令和7年4月6日

於 東京武道館

## 優秀試合者

## 第一試合場

鈴木 隆徳(台東)

土屋 武大(北海道)

関塚 直貴(警視庁)

佐藤 国隆(皇宮)

## 第二試合場

西村 直人(警視庁)

## 第三試合場

藤田 和幸(警視庁)

北城 満(文京)

仁歩 隆司(板橋)

八島 真彌(品川)

吉野 麦(千代田)

荒武 秀春(警視庁)

伊垣 誠(葛飾)

## 第四試合場

西山 晶造(港)

上田 秀介(江戸川)

安川 康雄(警視庁)

佐々木鉄也(西東京)

## 第五試合場

大串真裕美(台東)

平島 聖大(警視庁)

落合 弥生(茨城)

副島 孝一(警視庁)

## 第六試合場

河内 和也(警視庁)

中谷 明子(西東京)

山中 佳英(栃木)

飯屋 道浩(江戸川)

## 第七試合場

宇野 文祥(自衛隊)

保 清和(茨城)

大野 隆弘(板橋)

梯 日出嗣(板橋)

## 第八試合場

日高 亨(墨田)

石橋 陽平(警視庁)

神崎 力(西東京)

岡本 徹(大田)

第七十八回東京都スポーツ大会

令和7年5月11日

於 東京武道館

準決勝

板橋区 4-1 中野区

千代田区(本) 1-1 大田区

決勝

板橋区 2-3 千代田区



第78回東京都スポーツ大会試合

第十七回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会予選会

令和7年5月11日

於 東京武道館

大将の部

優勝 大江 恵美(警視庁)

第二位 矢野比路代(杉並)

副将の部

優勝 大串真裕美(台東)

第二位 小泉 葉子(足立)



第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会予選会  
各部門優勝者

中堅・三将の部

優勝 近藤 美洸(警視庁)

第二位 寺地はるか(千代田)

五将の部

優勝 佐藤みのり(警視庁)

第二位 黒木 未優(渋谷)

次鋒の部

北井 沙樹(茅ヶ丘)

先鋒の部

木元 美麗(高体連推薦)

第79回国民スポーツ大会剣道競技選手選考会

令和7年5月20日

於 東京武道館

成年男子の部

大将 岡本 和明(警視庁)

副将 権瓶 功泰(警視庁)

中堅 遅野井直樹(警視庁)

次鋒 宮本 敬太(警視庁)

先鋒 大平 翔士(警視庁)

成年女子の部

大将 大串真裕美(台東)

中堅 二宮 恭子(西東京)

先鋒 佐藤みのり(警視庁)



第79回国民スポーツ大会  
剣道競技選手選考会試合

第十七回東京都女子年齢別剣道大会

令和7年5月24日

於 東京武道館

ばらの部

優勝 高橋 実希(消防庁)

第二位 内田 茜(西東京)

第三位 榊沢 悠衣(法務)

第三位 堀之内 麗(墨田)

敢闘賞 村川 緑萌(皇宮)

敢闘賞 大野 天音(板橋)

敢闘賞 山田 成美(西東京)



会第17回東京都女子年齢別剣道大会ばらの部入賞者

敢闘賞 久芳 愛恵 (中野)  
ひまわりの部

優勝 奥田りいな (西東京)

第二位 小松 柔佳 (豊島)

第三位 石飛 貴子 (品川)

第三位 桐山 美里 (西東京)

敢闘賞 白井 玲 (杉並)

敢闘賞 齋藤佐知子 (中野)

敢闘賞 渡邊 優 (江戸川)

はなみずきの部

優勝 横山 佳子 (西東京)

第二位 小林 宏美 (北)

第三位 及川亜也子 (西東京)

第三位 田村美和子 (西東京)

第三位 出原 郁枝 (西東京)

敢闘賞 隈部 香苗 (文京)

敢闘賞 見市 三佳 (中野)

敢闘賞 猫島 奈美 (北)

ぼたんの部

敢闘賞 小島 祐子 (西東京)

優勝 北原絵里子 (西東京)

第二位 柿添さゆり (渋谷)

第三位 堀江 真希 (中野)

第三位 井上 祐子 (西東京)

敢闘賞 馬場有希子 (西東京)

敢闘賞 佐藤 深雪 (港)

敢闘賞 工藤 紀子 (目黒)

敢闘賞 山本佐代子 (西東京)

かきつばたの部

優勝 村上美保子 (西東京)

第二位 新井 規子 (中野)

第三位 森田三佳子 (西東京)

第三位 大平 美幸 (江戸川)

敢闘賞 金成 聡里 (西東京)  
敢闘賞 上原富佐江 (世田谷)  
敢闘賞 小林 尚子 (目黒)  
敢闘賞 牧 美穂 (江戸川)

ゆりの部

優勝 高橋 晶子 (板橋)

第二位 山口 民子 (新宿)

第三位 長谷川礼子 (西東京)

第三位 大矢根怜子 (西東京)

敢闘賞 並木 昭子 (西東京)

敢闘賞 岡田千恵子 (練馬)

敢闘賞 吉野チエ子 (西東京)

敢闘賞 生方由紀子 (西東京)

## 大会報告

第七十三回全日本都道府県対抗剣道

優勝大会

令和7年4月29日

於 和歌山県

第三位

先鋒 長谷川秀吾 (足立学園)

次鋒 浦井進太郎 (専修大)

五将 佐藤 大洋 (千代田)

中堅 村富 聖気 (学剣連)

三将 宮本 敬太 (警視庁)

副将 岩川 力 (港)

大将 原田 悟 (警視庁)

二回戦 東京都 5-0 山口県  
三回戦 東京都 5-2 香川県  
四回戦 東京都 2-2 熊本県

準決勝 東京都 2-2 千葉県  
優秀選手  
原田 悟 (警視庁)



第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会第3位

## 高校連大会

令和6年度東京都高等学校新人剣道大会

東京都予選会

令和7年1月18日

於 東京武道館

男子の部

ベスト16

郁文館 3-0 日大三  
都立上水 0-4 国士館  
國學院久我山 2-3 攻玉社

都立篠崎 1-3 東海大高輪台

正則学園 3-0 杉並学院

京華 0-3 明大中野

駒澤大学 0-1 東海大菅生

都立八王子東 0-3 足立学園

準々決勝

郁文館 2-0 国士館

攻玉社 2-2 東海大高輪台

正則学園 1-2 明大中野

東海大菅生 1-1 足立学園

準決勝

郁文館 2-2 東海大高輪台

明大中野 2-1 足立学園

決勝

郁文館 0-0 明大中野

女子の部

ベスト16

淑徳巣鴨 5-0 都立駒場

吉祥女子 0-3 日体大桜華

桜美林 0-3 都立青梅総合

鷗友学園女子 0-5 東海大高輪台

東海大菅生 4-0 都立晴海総合

新渡戸文化 0-3 駒澤大学

都立深川 4-1 十文字

明星 0-5 修徳

準々決勝

淑徳巣鴨 4-0 日体大桜華

都立青梅総合 0-3 東海大高輪台

東海大菅生 2-0 駒澤大学

都立深川 0-2 修徳

準決勝

淑徳巣鴨 3-0 東海大高輪台

東海大菅生 1-0 修徳



令和7年度東京都高等学校春季剣道大会

兼関東大会予選

令和7年4月26・27日

於 東京武道館

決勝

淑徳巣鴨 2-1 東海大菅生

鷗友学園女子 0-5 駒澤大学  
都立青梅総合 3-0 都立晴海総合  
桜美林 0-3 東海大菅生

準々決勝

淑徳巣鴨 4-0 都立深川  
日大三 0-4 修徳  
東海大高輪台 2-1 駒澤大学  
都立青梅総合 0-4 東海大菅生

準決勝

淑徳巣鴨 3-0 修徳  
東海大高輪台 0-2 東海大菅生  
淑徳巣鴨 2-0 東海大菅生

男子の部

ベスト16

明大中野 3-1 國學院久我山  
京華 2-2 攻玉社  
正則学園 0-1 都立富士  
杉並学院 2-1 東海大高輪台  
足立学園 2-0 都立上水  
都立王子東 0-4 国士館  
東海大菅生 2-2 日大三  
駒澤大学 0-2 郁文館

準々決勝

淑徳巣鴨 3-0 修徳  
東海大高輪台 0-2 東海大菅生  
淑徳巣鴨 2-0 東海大菅生

準決勝

淑徳巣鴨 3-0 修徳  
東海大高輪台 0-2 東海大菅生  
淑徳巣鴨 2-0 東海大菅生

令和7年度

関東高等学校剣道大会個人東京都予選

令和7年5月10日

於 東京武道館

男子の部

準々決勝

板橋(本郷) 1-3 長谷川(足立学園)  
佐藤(明星) 1-0 久保木(郁文館)  
田村(郁文館) 1-0 城ヶ崎(正則学園)  
内藤(郁文館) 1-0 松本(東海大菅生)

準決勝

長谷川(足立学園) 1-0 久保木(郁文館)  
田村(郁文館) 1-0 内藤(郁文館)

決勝

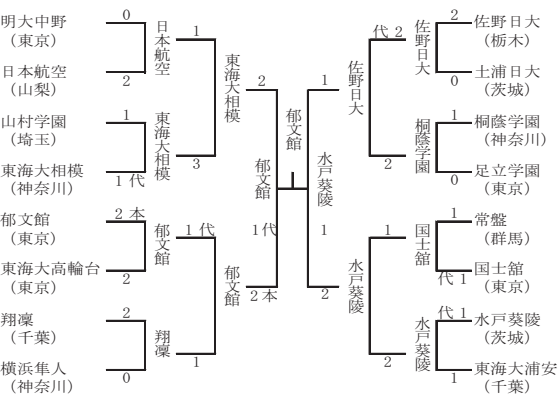
久保木(郁文館) 1-0 田村(郁文館)

女子の部

宇山(修徳) 1-0 小関(淑徳巣鴨)  
小沼(淑徳巣鴨) 1-0 宮坂(都立深川)  
木元(淑徳巣鴨) 1-0 下川(日体大桜華)

準々決勝

宇山(修徳) 1-0 小関(淑徳巣鴨)  
小沼(淑徳巣鴨) 1-0 宮坂(都立深川)  
木元(淑徳巣鴨) 1-0 下川(日体大桜華)



団体の部  
男子の部  
優勝 郁文館高等学校

於 茨城県

第72回関東高等学校剣道大会

令和7年6月7・8日

女子の部

小山(栃木) 0-2 翔漢(千葉)  
本庄第一(埼玉) 2-0 甲府商業(山梨)  
健大高崎(群馬) 1-0 東海大菅生(東京)  
横浜(神奈川) 0-2 守谷(茨城)

準決勝

小山(栃木) 0-2 翔漢(千葉)  
本庄第一(埼玉) 2-0 甲府商業(山梨)  
健大高崎(群馬) 1-0 東海大菅生(東京)  
横浜(神奈川) 0-2 守谷(茨城)

決勝

小山(栃木) 0-2 翔漢(千葉)  
本庄第一(埼玉) 2-0 甲府商業(山梨)  
健大高崎(群馬) 1-0 東海大菅生(東京)  
横浜(神奈川) 0-2 守谷(茨城)

準々決勝

小山(栃木) 0-2 翔漢(千葉)  
本庄第一(埼玉) 2-0 甲府商業(山梨)  
健大高崎(群馬) 1-0 東海大菅生(東京)  
横浜(神奈川) 0-2 守谷(茨城)

準決勝

小山(栃木) 0-2 翔漢(千葉)  
本庄第一(埼玉) 2-0 甲府商業(山梨)  
健大高崎(群馬) 1-0 東海大菅生(東京)  
横浜(神奈川) 0-2 守谷(茨城)

準決勝

小山(栃木) 0-2 翔漢(千葉)  
本庄第一(埼玉) 2-0 甲府商業(山梨)  
健大高崎(群馬) 1-0 東海大菅生(東京)  
横浜(神奈川) 0-2 守谷(茨城)

準決勝

小山(栃木) 0-2 翔漢(千葉)  
本庄第一(埼玉) 2-0 甲府商業(山梨)  
健大高崎(群馬) 1-0 東海大菅生(東京)  
横浜(神奈川) 0-2 守谷(茨城)





## 全日本剣道選手権大会優勝

## 全日本女子剣道選手権大会優勝

# 都知事を表敬訪問

東京剣連だより97号でもお伝えしました通り、昨年11月3日に開催された第72回全日本剣道選手権大会、第63回全日本女子剣道選手権大会で、東京都代表の竹ノ内佑也選手（警視庁）、近藤美洸選手（警視庁）が、見事、優勝されました。男女とも東京都の選手が制覇するという快挙を東京都知事に報告するため、1月20日、竹ノ内選手、近藤選手が、千葉胤道会長とともに小池百合子知事を表敬訪問しました。東京都剣道連盟からは、太田健一郎副会長、久保木優副会長兼専務理事、平尾泰常任理事も同道しました。

訪問の場には、小池知事の他に、都議会議員、都庁幹部も同席され、一同、温かい歓迎を受けました。竹ノ内選手から、10年ぶり2度目の優勝の報告、近藤選手からは出場10回目にしての念願の初優勝の報告がそれぞれなされました。

これに対し、小池知事からは、両選手とも警視庁の警察官ということに触れ、東京都民の安全を守ってくれていることへの謝辞が述べられました。また、東京都スポーツ局の方からは、警視庁の選手の1日について活発な質問がありました。稽古漬けの様子を聞いて大変驚いておられました。両選手からは、今年の大会への抱負も述べられ、最後に記念撮影をして表敬訪問を終えました。

称号・六段以上合格者

剣道範士 (5月6日於京都府)

高寺恒穂 72歳



職業 学習院大学剣道部師範  
出身地 千葉県

寺地賢二郎 62歳



職業 大学職員  
出身地 鹿児島県  
座右の銘「交剣知愛」

杖道範士 (5月3日於京都府)  
森井美津男 74歳



職業 無職  
出身地 静岡県  
座右の銘「百鍊自得」

剣道八段 (5月1日於京都府)  
中村孝則 60歳



職業 フラミスト・美食評論家  
出身地 神奈川県  
座右の銘「明歴々露堂々」

剣道八段 (5月2日於京都府)  
黒田英寿 58歳



職業 学校職員  
出身地 東京都  
座右の銘「一剣幸國」

山下 亮 51歳



職業 警察官  
出身地 千葉県市川市  
座右の銘「敬天愛人」

杖道八段 (1月24日於東京都)

萩原太郎 75歳



職業 無職  
出身地 東京都渋谷区  
座右の銘「精力善用・自他共栄の心を持って、生涯武道・無心無構の境地を目指して勉強・稽古して参ります」

藤原敏成 69歳



職業 無職  
出身地 大分県別府市  
座右の銘「寸光陰をへかり」

杖道七段 (1月24日於東京都)

河村豪祐・JETHRODERICK・高羽知紀・入江美雪

杖道六段 (1月24日於東京都)

竹内正幸・野崎明

剣道七段 (2月1日於福岡県)

【豊島】上原健一【自衛隊】小湊克裕

剣道六段 (2月2日於福岡県)

【大田】高岡翼【自衛隊】田中伴幸

剣道七段 (2月11日於沖縄県)

【中央】石津賢人【世田谷】池原卓

剣道六段 (2月11日於沖縄県)

【台東】石川広明【世田谷】小見山一【練馬】川越政雄【西東京】

竹松康之

剣道七段 (2月15日於山梨県)

【千代田】磯部康人・古手川高志・土井謙二【中央】竹原一樹・吉田安宏・小林秀達【台東】榎本充宏

【江東】高畑清吾【新宿】板井克己・加藤秀隆・牧元和憲【中野】栗原文夫【杉並】立石詩織【渋谷】有田俊介・竹村恭一【港】大村径・牧草浩之【品川】田栗康徳【大田】杉浦佳夫【北】平石清和【板橋】坂口節子【西東京】神保雄・飛永亜希子・下宮一晃・佐野正行・川上彰・嘉規邦伸・長谷川三千夫・吉田秀雄・井上日出夫・西浦康雄・松原彰士【警視庁】關将太・今濱真太郎・乙訓和行・星原将巳・左右田貴広【法務】阿部真悟【自衛隊】常田誠・遠藤英隆【学連剣】小澤哲也・鈴木秀範【高体連】増田太郎・緑川智也・橋爪仁志・郡茂登子

【剣道六段 (2月16日於山梨県)

【千代田】阿南隼人・細川実佳【台東】片岡奨太・田村準樹【墨田】酒井悠一【江東】留野陽介【葛飾】久保陽子・小田真弘【足立】濱本道徳【新宿】増田幸正・松永紘作

【杉並】別筒理佳・井上史彦・畠山理仁・吉田強【渋谷】岡田裕志

【世田谷】高田紳・森本里香【港】森山英司・今村哲也【品川】東出

唯志・小野貴博【目黒】末吉和昭・白石和人【大田】堀内理【北】佐々野佑介・櫻井和子・能瀬英明

【荒川】池田光希【練馬】三上智洋・前野俊郎・本多憲一郎【西東京】内田茜・平澤大河・小澤彰・内野大輔・古山精史朗・小島祐子・土井杏子・戸谷裕子・濱口雄二・松本義弘・山口望・尾作美智代・中西靖裕・平林幸盛・中村謙吾・小池光春・深沢裕・住谷弾・渡邊輝夫・柴村哲治・齋藤多聞・加藤大介・池上隆・中世古篤之・千葉次男【警視庁】加納彰大・柑子木稔・藤間俊輔・松田晃茂・田川宗樹・子島和人・泉由美子・金井智彦・江川博志・渡邊克寿・池本盛一・伊藤高歩・大沼孝・山脇勝也

【自衛隊】兒玉拓弥・石井勝隆・中原昭裕【消防庁】沼沢光夫・遠藤正大【学連剣】河野達朗【高体連】山下剛

居合道七段 (3月2日於京都府)

小澤一也・安藤圭介・笹本啓明・小澤裕花

居合道六段 (3月2日於京都府)

田中伸明・海寶丈彰・下田正信・新垣愛・佐藤逸郎・齋藤幸雄・林理枝・松島昇・松本修

剣道六段 (4月29日於京都府)

【千代田】松浦嗣人・深山小兵衛

【台東】山田麻希【葛飾】川村光利【中野】鈴木亜紀・淺野篤郎【杉並】橋爪修身【世田谷】安達弘通【港】高田勝寿【板橋】八本充浩・露木延夫【警視庁】平田哲大

#### 剣道七段（4月30日於京都府）

【葛飾】中村弘伸【品川】佐藤隆祐【西東京】定榮弘三【警視庁】遅野井直樹

#### 杖道錬士（5月3日於京都府）

河辺喜隆・喜入冬子・佛井淑子・中川敏昭

#### 杖道教士（5月3日於京都府）

佐藤健一・長瀨美知子

#### 居合道錬士（5月3日於京都府）

白山慎・佐藤利子・宮原康代・吉川尚亮・信太信隆・望月隆・門間英文

#### 居合道教士（5月3日於京都府）

斎数真人

#### 剣道錬士（5月6日於京都府）

【千代田】鶴海翔太・祖父江五月【中央】木村勇介・森山貴晶【台東】許礼恩・平田隆幸・赤堀則行【墨田】浅野文亮・深川正己【江東】山崎正道【葛飾】市川奈代子・田代幸長【新宿】長谷川光【中野】

武藤和代・西村厘・丸茂研【杉並】吉田拓也・中田泰久【港】永井美耶子・河田正俊・小松崎寛【大田】澤井功・吉田文彦【練馬】長井政明・岡本祐介【西東京】井上和也・原島雅人・瀧原和久・瀬野尾晃弘・大谷純・小松原茂・吉川健司・雨宮正明・土居直彦・小野間弘・濱田英敏・小山則夫・脇谷裕一・布施隆文【警視庁】高須智之・梶原浩樹・岡元健太・梅澤健太・吉田直喜・白井功次・藤江修大・牧学・平尾淳一・吉田誠司【法務】吉見健太郎【自衛隊】森尾健児・真柴智樹・宮野恭行・佐々木重雄【高体連】小野口克己

#### 剣道教士（5月6日於京都府）

【千代田】加藤賢次【台東】渥美郁男【文京】紺野千恵子・羽田郁雄【江東】ギブソンスチュアート・河上昌弘【葛飾】高橋輝【江戸川】多米健一【足立】山下健也【新宿】中村豊樹【中野】新井規子【渋谷】菊地美紀・肥後真美【港】黒神靖之【北】和田宗春【練馬】端本謙一【西東京】福田知広・和久田聖・荒井裕幸・清水賢二・小瀬雄三・四釜博俊・石黒健司・田島修一・清水康雄・西村浩・三沢健治【警視庁】青木英治・林雄貴・内山拓也・中島宏晃・太田和洋・久木山満美・辻義之・加藤孝雄【自衛隊】稲富誠一郎【交通局】吉留勝【学

連剣】星野喜代広・柳田要一・根本正次

#### 剣道七段（5月10日於愛知県）

【千代田】三宅俊輔・勝山毅・玉井俊伊【中央】宮城嗣也・吉田鈴夫【文京】高橋和法【墨田】深川正己【葛飾】伊垣諒・花田大作【足立】久保木柁仁【中野】村上志真・田中友香・齒梁伸明・大重史朗・田中忍【杉並】中西光一郎【渋谷】高橋重貴【港】住崎誠洋・藤原元【大田】若山泰輔【北】猪野新一郎・寺田雅夫【板橋】高橋晶子【練馬】星野高弘【西東京】大野重幸・川口馨史・佐々木裕之・万城目稔・栗原宏之【警視庁】近藤浩貴・日野正稔・桑嶋康雄【消防庁】小松勇一【学連剣】吉本英樹・渡辺隆

#### 剣道六段（5月11日於愛知県）

【千代田】吉武祐生【中央】武井隆之【墨田】小林正裕・佐藤千秋【葛飾】丸家光太【江戸川】二瓶淳【足立】高野勇治【中野】Rodd Jan・山野辺一徳・山野辺勸二・篠原順子【世田谷】森本奈緒子・磯野敦子【港】白谷征也【品川】高野春樹・浅賀耕太郎【目黒】滝沢憲弘【大田】齋藤慎久【板橋】杉山貴紀・李品路【練馬】酒井雅博・大塚恵味・深津貴夫・三輪明史・村田里美【西東京】貝塚泰紀・

二宮恭子・佐藤和弘・矢島秀一・茂木信一郎・林逸夫【警視庁】横田幸輝・宮本敬太・渡會竜也・村松俊・高橋慶太・大和田好行・保坂功【法務】佐々木佳佑【自衛隊】柏崎顕士

#### 剣道四・五段審査会

（2月1日於東京武道館）

#### 五段合格者

【千代田】古田真平・長瀨美知子【中央】黒田一輝・佐藤真一【台東】廣瀬壮一郎【文京】寺本樹里【葛飾】川上真輝・佐藤里紗・竹内陽子【江戸川】関口拓【足立】悪原賢・葦原史崇【中野】木村健一郎【杉並】佐野純子・高橋博・菅原純子【渋谷】尾野大成・渡辺孝行・東島孝吉【世田谷】西口真彦・田中克実・堀江真希・荒木邦彦・西山廣【港】黒川大樹・細川修平【品川】中村隆文・佐藤仁【大田】田中裕太郎・田上貴裕・アザマツトクミコフ・坂本昇・牧野正裕・瀬尾孝行・市原典子・高木強・飯田加珠子【豊島】藤野麗太・鈴木秀和【荒川】前原光鶴扇【板橋】笹木智子・小林規全・永見美砂子・荒川弘明【西東京】二ツ森飛鳥・岩邊誠一・山田成美・河合信太郎・中塚諒介・小室源樹・田嶋友美・大山知里・尾花千春・佐原裕士・山口幸太郎・寺井正樹・



内木庸隆・御澤勝将・香山美濃利・矢野陽介・白戸憲也・溝井英行・佐藤武史・萩田都季江・西川直宏・平澤豊・長田周一郎・加藤研郎・中島義治・平井隆・平井潤・小俣日出男・宇田川明美【警視庁】  
 廣田千陽【皇宮】寄田直寿【自衛隊】山中勇輝・平林雄太・西谷昌幸【消防庁】井上成昭・櫻庭義丈【学連剣】齋藤海晟・渡邊徳明【高体連】宮本泰嵩・石橋太加志【アメリカ】松山美枝子

#### 四段合格者

【千代田】吉田右恭・渡邊俊介・名取正人【中央】小川隆志・森裕道【台東】金成伸紘・村山秀輝【文京】篠崎立成・今野晶仁【墨田】大須賀開【葛飾】小野寺明代・関本督【江戸川】柳川瑠奈・佐々木穂・松本脩佑・平澤綾子・永吉浩二・市川哲也【足立】佐々木直人【新宿】青木祐也【中野】小川智大・齋藤柱導【杉並】郡司康太郎・本多圭佑・大石茂【渋谷】伊藤玄也・木村圭佑・副島達朗・福住有紗【世田谷】丸山聖樹・風晴友吾・黒木圭太・武石由貴子・伊豫田政孝【港】近藤星也・高嶋清奎・山村颯一郎・井手奈月・阿部昌利【品川】高野照久・中尾康明【目黒】佐藤浩作・若松征剛【大田】中井凜果・近裕太・今西好海・満江陵太・田中智徳・アザマツト

ウルバシエフ・中村士郎【豊島】

今井幸太・前澤銀恵【北】大地貴之・今村圭子・平勝己・松原三香【板橋】尾崎浩太郎・栗井駿・喜屋武克哲【練馬】中園奈歩・本多桃子・宮崎海帆・小川敬祐・坂英樹・古川和恵・中川洋行・吉岡錠治・渡邊新・奥村吾郎【西東京】佐藤龍馬・木村勇斗・谷合優希・菜・佐々木千紘・富士川吉穂・畑中佑介・高島悠・小川達也・伊藤亜沙日・西原綾太・星野咲希・萩原大希・柳沼勇作・川上光子・宮出純・横山佳子・唐津剛磨・米野洋平・加藤恭央・栗原淳二・坂田恵・大木貴博・佐藤竜亮・熊本美栄・ルース希・武末明雄【警視庁】黒澤翔矢・野口隼・由井宏樹・横山泰生【自衛隊】久松聖昂・田村航太郎・松山貴成【消防庁】大崎慎也【学連剣】宮本莉子【学生ク】吉田智奈・井出悠希・菅野吉優・横井魁秀・宮久保極・宇野海音・辻田利樹亜・鈴木陽・今井翔悟・仲村悠希・長野哲平・川島尊琉・石崎裕士・大野優太・藤井幹大・多並怜史・山本蓮・阿部林太朗・箭内彩人・北山真也・高橋剣太・坂上昇太・栗林凜太郎・安部颯馬・蓑輪圭史郎・石谷晃一・山本千裕

#### 「もう」息の受審者

#### 五段

6 13 14 19 27 30 40 47 48 57 59 62 90 93 99

103 114 123 137 151 157 204 231 234 242 245

#### 四段

2 17 21 28 39 42 58 65 81 83 94 113 140 144 153

155 156 160 161 174 177 179 306 314 325 343 345 355 377 384

#### 杖道四・五段審査会

(3月15日於東京武道館)

#### 五段合格者

青木哲也・早坂明哲

#### 四段合格者

福富天斗・前野秀明・石井良三・滝澤賢・島直紀・荒木田将毅・澤井弘昌・今村行夫・塚田幸一・大石肇・塩瀬学・菅聖二・藤井徹・田島通夫・永田宋典

#### 「もう」息の受審者

#### 五段

3 7

#### 四段

2 12 17 24

#### 居合道四・五段審査会

(3月22日於東京武道館)

#### 五段合格者

佐藤平・福永靖史・雷衍亭・石垣雄太郎・奥田恭一・アロンペラ・小森真樹・鍋島祐一・萱島真・西條敦勇・梁環猷・高橋長地

#### 四段合格者

秋山幸治・秋山優希・関ジュリアス・古澤智裕・久間木尚之・原幸一・中美恵子・高橋直子・赤尾和子・田近利夫・張月鏢・大上幸二・栗原敏夫

#### 「もう」息の受審者

#### 五段

3 14 18 23 28 30

#### 四段

5 16 26 30 31 34 35 42 43 46

#### 剣道四・五段審査会

(4月20日於東京武道館)

#### 五段合格者

【千代田】藤井俊輔・藤川智也・高原悠佑【中央】稗田悠人【墨田】稲田利彦【江東】金子晃・大橋加奈子【足立】安田慶次郎・吉越通晴【中野】浅香樹・田原和弘・灰



住智子【杉並】米津比御【品川】  
木下尚雅・中根舞香・青木千陽  
【大田】山口遙玄・小野愛美・秋  
元健之・稲永哲二【豊島】山神京  
介・本木忍【北】野川大気・田中  
晋太郎【板橋】齋藤優奈・横山雄  
太・Jun HELEN・小林孝次【練馬】  
嶋崎武夫【西東京】青木翔威・松  
井翔太・荒井俊行・渡邊圭一・中  
本美香・高橋将・吉田次朗・柳沢  
秀策・平田吉男・小林千里・家光  
寿美・伊藤円・青木孝夫【警視庁】  
中武雅幸・奥雄斗・栗本祥希・桐  
澤かれん・田ノ上さおり【皇宮】  
小林勇輝【消防庁】赤坂雪乃【交  
通局】浅見拓也【学連剣】坂本光  
樹・井上雄貴・青森裕一【高体連】  
蛭原利騎

#### 四段合格者

【千代田】谷省吾【江東】尾辻江  
里・橋田直隆【葛飾】安川奈緒美  
【江戸川】佐藤浩光【足立】福地  
紗希・高木寿茂・安西哲也【新宿】  
江口優花・熊倉淳【中野】見市鈴・  
江原孝志【杉並】藤本陸人【渋谷】  
幸路剛志・大歳はるか・牛山敏文  
【世田谷】大喜多ひなた【港】武  
捨俊輔・本田倭子・都祭凜【大田】  
AleksyEvdokimov・ゲルティン  
ガー剛【豊島】鈴木英貴【練馬】  
林武・川端琳晴・伊勢夏葵【西東  
京】飯塚美咲・佐藤太一・楠木ま  
なか・吉成俊佑・竹渕絵里子・山

岸丈矩・大平義隆・井澤喬志・村  
友大祐・富田恭介・岩本和良・團  
野誠・三田村博・高野拓也・大澤  
由香里【警視庁】田村雄大・山口  
康太【法務】江口琉花【自衛隊】  
中原瑠美・古市晴大・影山一誠・  
近藤淳也・菊田浩尉・外山義孝・  
和田毅【学連剣】吉田桃子【学生  
会】森下晋・田村進賢・石橋蓮・  
松田侑也・櫻井美姫・小林佑太郎・  
木戸田大翔・石崎璃華・熊澤瑛太・  
國廣敏斗・武田七鶴・湯原虎徹・  
今野友愛・溝呂木瑠太郎

#### 【もう】息の受審者

#### 五段

16 29 43 55 80 82 88 89 112 119 132 156 206 231

#### 四段

132 25 71 83 87 91 92 96 108 111 116 117 120 127 128 129

誤：【警視庁】小林大輝  
正：【法務】小林大輝

97号P.18、の「称号・六段以上合格者」欄で、小林大輝様の所属団体に誤りがありました。「警視庁」と記載しておりましたが、正しくは「法務」です。お詫びして訂正いたします。申し訳ありませんでした。



## 麻酔のお話し(1)

萩原 幸彦

### 1. はじめに

今や日本は世界でも有数の高齢化社会となり、人が長生きすればするほど怪我や病気にあう機会が増えるのは道理というものでしょう。怪我や病気などの直接の原因を扱ってくださる先生（主治医）のお話しはどなたでも理解されるようですが、「あなたは全身麻酔での手術が必要です。」と言われますと、多くの人は「あれ、まあ。」となるみたいです。「麻酔」って漠然とは知っていても正確なところは殆ど知られていないのが実情です。そこで現代の麻酔のあり方に関してご理解を頂ければと不肖の麻酔科医から3回に分けてお話しをさせていただきます。

### 2. 麻酔という言葉の成り立ち

みなさんは麻酔という言葉の成り立ちをご存知でしょうか。じつは江戸時代後期に英語の「anesthesia」の訳語として杉田成卿（せいけい）という蘭学者によって作られた言葉なのです。「麻」は「しびれる」「感覚を鈍くする」こと、「酔」は「朦朧（もうろう）（もうろう）状態」「意識を失くす」ことを意味しています。これを組み合わせさせて「麻酔」となり、知覚を鈍化することで痛みを和らげ、それに加えて患者さんの意識を低下させて楽にすることを指す言葉となったのです。

### 3. 麻酔という言葉の使い方

このように麻酔という言葉には2つの意味が込められています。したがって一般的に「痛みをなくす」場合は「麻酔をする（打つ）」、「意識をなくす」場合は「麻酔をかける」というように別々な表現が使われています。「打つ」は子供達でも知っている局所麻酔を注射して痛みをとることに由来し、「かける」という表現は積極的に意識をとる手段がエーテル麻酔、気化したジエチルエーテル（アルコールの一種）を吸入させる方法から確立したことに由来します。医学的な言い方をする则前者は「鎮痛」で、後者は「鎮静」となります。日常生活ではこの2つの性質を麻酔という一語で補っているので混乱を招いても仕方ありませんね。もちろん、ここまで読み進まれた皆さんはもう大丈夫でしょう。

### 4. いよいよ全身麻酔ですが…

身体がいろいろな刺激を受けても寝た状態にあれば「全身麻酔」であると解釈されやすいですが、残念ながらそれほど単純ではありません。胃や大腸の内視鏡検査に代表される比較的強めの刺激を伴うような検査では「つらいところ」が分からないように麻酔をかけましょうね。」と言葉をかけられることと思います。もうお分かりですね、この場合での麻酔は鎮静の意味で使われています。では鎮静と全身麻酔はどこが違うのでしょうか。大きく異なるのは鎮静では患者さんの呼吸は止めませんが、全身麻酔では筋弛緩薬という筋肉の収縮が起きないようにする薬を使用して呼吸運動を止めます。なぜわざわざ呼吸を止めるのでしょうか。それは手術の最中に患者さんが動いてはうまく手術ができませんね、それどころか他の臓器や血管を傷つけてしまう危険性があるからです。このような理由で全身麻酔では人工呼吸が必要となるのです。

## 5. 全身麻酔の要素

さて、患者さんの自発的な動きを止めるところまで来ました。医学の世界では全身麻酔の三要素として1.「鎮静」、2.「鎮痛」、3.「筋弛緩」と挙げられています。お気づきでしょうか、ここでは鎮静が第一とされています。私が鎮痛を先に挙げたのは、身近な事柄を先にお話ししたほうが皆さんの理解を得やすいのではと考えたからです。この効果はありましたでしょうか。現在では4.「有害反射の抑制」というものが加えられて四要素となっています。患者さんサイドから平たく言えば「意識なく、痛くなく、動くことなく、より安全に」手術を受ける状態になった、これが全身麻酔なのです。

〈ちよつと一息…世界で初めての全身麻酔は？〉

世界初の全身麻酔による手術は1846年アメリカでウイリアム・モートンがエーテルを使用しての手術であるとされてきました。ところがそれより40年も前の1804年10月13日、今の和歌山県で日本人の華岡青洲が「通仙散（つうせんさん）」別名「麻沸散（まふつさん）」という麻酔薬を使って全身麻酔下に乳がん摘出手術に成功していたことが確認されました。この経緯は有吉佐和子著「華岡青洲の妻」の題材となっています。これをもって公益社団法人日本麻酔科学会では10月13日を「麻酔の日」と制定しており、世界初の全身麻酔下手術は日本で行われたと自負しています。

以上、全身麻酔の概略を少し遠回りしてお話ししました、いっくらかはお役に立ちましたでしょうか。次回は麻酔の区分けと麻酔科医の業務についてお話しする予定です。

### プロフィール

氏名 おぎはら ゆきひこ  
年齢 68歳  
出身地 神奈川県横浜市  
出身学校 東京医科大学  
経歴 東京医科大学卒業後同大学大学院（麻酔学）に入学、その後東京医科大学病院麻酔科医局長等を経て東京医科大学麻酔科学分野（名称変更）臨床教授、定年退官後東京医科大学特任教授、本年度より八王子消化器病院麻酔科顧問。医学博士、日本専門医機構麻酔科専門医、公益社団法人日本麻酔科学会認定麻酔科指導医

### 剣道 座右の銘

錬士七段 東京都剣道連盟医学委員会委員長

「以心打心」故・大柵一郎先生（医師・剣道・居合道範士八段）より頂いた色紙の言葉です。「剣の道は心をもって心を打つこと」と論されましたが、自己流に「何事も心を用いて行わねば相手の心に響かない（理解されない）」と意識してから座右とし、自戒反省の礎としています。





## 居合道部会活動報告

## 居合道部会

会長 伊藤 繁男

令和6年度下半期(10月～3月)の事業実施内容は以下のとおりであり、前号と併せて、居合道部会1年間の活動報告とします。

## 1, 居合道部会の事業

\*第2回六・七段受審者講習会(東京武道館・10月)

\*第2回級位審査会(東京武道館・11月)

\*第1回八段受審者講習会(東京武道館・11月)

\*古流研修会(京王アリーナ TOKYO・12月)

\*第2回実技講習会(エスフォルタアリーナ八王子・1月)

\*第3回六・七段受審者講習会(北区滝野川体育館・1月)

\*第2回登録審査員研修会(北区滝野川体育館・1月)

\*第2回指導者講習会(北区滝野川体育館・1月)

\*二段・三段・四段・五段受審者講習会(東京武道館・3月)

\*第2回八段受審者講習会(東京武道館・3月)

\*第2回三段以下審査会(東京武道館・3月)

\*地区単位で開催される講習会への講師派遣

2, 東京武道館(スマイルスポーツ)への協力事業

\*広域合同稽古会への講師派遣(10月～3月)

\*居合道錬成講習会(3月)

3, 東京都剣道連盟主催・居合道部会主管の事業

\*第28回関東甲信越居合道大会(東京武道館・1月)

\*第2回四・五段審査会(東京武道館・3月)

4, 全日本剣道連盟主催行事

\*第59回全日本居合道大会(東京武道館・10月)

\*六・七段審査会(江戸川区

スポーツセンター・11月)

\*八段審査会(江戸川区スポーツセンター・12月)

\*六・七段審査会(京都市武道センター・3月)

5, 他県開催大会への参加

\*第49回全国各流居合道北九州大会(福岡県・3月)

\*第5回段位無差別居合道大会(福島県・3月)

居合道部会が一般財団法人として再出発をして6年間、様々な行事の見直しをしてきました。が、本年度も令和6年度の実施内容を糧として、会員にとり、より内容のある事業を目指します。

## 第121回京都大会での杖道演武

## 杖道部会

会長 小林 正明

全日本剣道演武大会(京都大会)は、武道を志す者にとって、修練の成果を披露する晴れ舞台であり、また全国の諸先輩、同好の士との貴重な交流の場でもあります。今年は、剣道を筆頭に、杖道、居合道、薙刀、各種形を含めて総勢3853名が参加しました。令和2年、3年とコロナ禍による開催中止、4年、5年は観戦者の制限と苦難

がありました。が、昨年より通常に復し、観戦制限を契機に全演武のYouTube配信が開始されて、全国さらに世界中から画面を通じ観られるようになりました。長い歴史と高い格式を維持しつつ、常に新たな進化も遂げていること、主催の全日本剣道連盟、主管の京都府剣道連盟に心から敬意を表したいと思います。

初日の5月2日に各種形、薙刀、杖道、ついで居合道の演武が行われるのが恒例で、皐月の薫風の中で行われることが多いのですが、今年は2日午前中、篠突く雨に新緑が洗われる中で演武となり、かえって集中力と静謐さが感じられました。

本大会における杖道演武の楽しみの一つは、全国を代表する指導者の方々が、時に都道府県剣連の粋を越え、地域を越えた仕打(杖と太刀)の組合せで演武されることで、注目を集めます。また、ご夫婦が杖、太刀の組合せで演武されることも珍しくなく、男女が同じ土俵で演武を競い合う杖道ならではの光景です。

他の武道の方々とも交流しつつ、優れた特性、特徴を持つ杖道の一層の普及、発展をめざしてまいりたいと思います。



第28回関東甲信越居合道大会試合風景

## 支部活動報告

来年創立80周年を迎えます

## 台東区剣道連盟

理事長 倉澤 正

台東区剣道連盟は昭和21年、まだGHQの統制厳しい中、先輩諸先生方の尽力により創設されました。様々な困難もありましたが来年80周年を迎えることになりました。それも東京都剣道連盟をはじめ、各連盟の剣友の皆様のおかげだと感謝しているところです。連盟の目標は剣道を通じて地域の青少年の育成と、美しい日本の精神文化の継承です。現在18支部、約430名の会員はそれを胸に剣道の稽古に励んでいます。

地域の青少年の育成が大きな目標の一つですが、少子化や他の人気のあるスポーツなどの影響もあり、剣道を習う地域の小、中学生の数が減少しています。平成19年から東京都の「ジュニア育成地域推進事業」を活用して、小、中学生を対象としたジュニア育成講習会と指導者の審判



第2回倉澤CAP剣道大会

講習会を行い剣道の普及に努めています。子供たちの剣道人口を増やすという意味ではあまり効果が上がっていません。剣道界全体の悩みだと思えますので知恵を絞っていきたいと考えています。

昨今スポーツの指導者のパワハラ、セクハラが問題視されており、「コンプライアンスの遵守」ということを盛んにいわれるようになりました。当連盟でも全剣連からの倫理に関するガイドラインに沿って研修会を行ったり、団体として規約等で体制作りができています。セルフチェックを行いました。益々多様化する社会において、周囲の厳しい目に応えていかななくてはいけないと考えております。

連盟の現状・リバーサイドスポーツセンター

毎週金曜日連盟会員稽古会  
(第2金曜女子稽古会) 午後6時半

毎週火曜日区の開放日…誰で

も参加できる 午後6時半  
台東区剣道連盟剣道大会 6月 初心者の子供たちの演武もあり

墨田区連盟との交流大会(姉妹区大会) 7月

区民体育祭剣道大会 10月

初心者の子供たちの演武もあり

高段者・高齢者大会(倉澤杯) 1月

ジュニア講習会年2回…小、中学生の剣道講習と指導員の審判講習

級審査会1回、三段以下審査会年2回

## 北区剣道連盟の取り組み

## 北区剣道連盟

理事長 賀集 映二

当北区剣道連盟は昭和27年(1952年)5月に創立し、今年で73年を迎えております。様々な歴史がありました。現在は剣道・居合道・杖道の三道を当連盟のなかで統括し、活動



しております。剣道はもちろん、居合道・杖道の会員はそれぞれに、人間形成・技術の向上・試合・昇段審査合格等を目標に日々精進しております。剣道・居合道・杖道は日本固有の文化であり、特に精神的な面をはじめ、礼儀作法、美しい所作などが感じら



小学生各団体稽古会

れ、見る者を感動させることができます。活動内容としては区内の試合、連盟の稽古会、遠出稽古会、各種講習会、北区剣道祭、剣道形、木刀による剣道基本技、ハラスメント、救急救命講習会等、様々な行事も盛りだくさんに行っております。



審判講習会

さて、昨今は皆様もご存知の通り、少子化の影響もあります。三道の人口の減少傾向が顕著になっております。技術の向上や試合での成績も大切なことと思いますが、裾野を広げ、より良いものを次世代に残し、伝えていく事も大切なことであると考えております。

当連盟は青少年のため、基本を重視した定期稽古会や強化稽古会を行っておりますが、特に在学先の区内中学校の剣道部が廃部となり、「剣道を学びたいが学べる環境がない」との多数の生徒の意見をもとに、「北区剣道連盟中学校剣道部」を創設し本年より活動を開始いたしました。

当連盟は「交剣知愛」の精神のもと、三道を通じた人間形成を目的とし、長年地域に根付いた活動を行ってきました。青少年の豊かな育成に貢献していくとともに、生徒、学校、地域社会、行政のかけ橋となるよう一層活動に取り組んでおります。

東京学連剣友連合会の新しい試み

東京学連剣友連合会

理事長 藤野 靖

暑さが強まる時期となりましたが皆様の熱中症対策は、いかがなされていらっしゃるでしょうか。適切な水分補給と休憩が一番の効果ある対策でしょうか。

我々、東京学連剣友連合会は、令和6年に創設60周年を迎え、その目的に、「剣道の普及、振興に寄与すると共に会員相互の親睦を図り、学生剣道の健全なる発展に協力する。」と掲げており、令和7年3月末時点で



令和7年東京学連剣友連合会3月武者修行石巻会場



令和7年東京学連剣友連合会武者修行仙台会場

全国86大学、225名が登録会員として所属しております。

目的を達成するための事業として、定例稽古会のほかに、東京都学生剣道クラブと共に4月末に日本体育大学様の剣道場をお借りしての剣道講習会、5月末に東京都学生・女子学生選手権大会、11月に東京農業大学様剣道場をお借りしての三段以下審査会を共催しております。12月には創立60周年記念第35回学連剣友剣道大会を東京武道館で開催し、外国大学チームを含め、全国89の大学から約1130名、23歳から80歳の剣士に参加いただきました。今年3月の武者修行では、剣道を通して東日本大震災からの復興を目指している宮城県剣道連盟、石巻市剣道連盟の皆様を受け入れていただき稽古のみでなく心の交流をすることができました。また大学授業で剣道を学ぶ学生向けに一級審査会を年間3回実施しております。

そして東京都剣道連盟の各種行事に参加協力する、国際交流事業を実施する、という内容を

実施しております。

令和7年4月に6年ぶりに役員改選があり、全日本実業団剣道連盟理事長の田口昌宏が会長となり、従来の学生剣道だけでなく実業団剣道とも更なる関係が深まることにより、「交剣知愛」が幅広く実現することが期待されます。

田口新会長の下、新しい動きとして、①各事業を「委員会」と名称変更し、副会長を基軸に会員のための「より細かい委員会活動の実現」を目指します。

②新たに「女子委員会」を設け、女子稽古会や女子会員の増加、女子学生との交流を一層促進します。③連盟の役員である女性理事・監事の比率を25%にするべく、女性役員を従来の1名から6名へ大幅に増員しました。以上のように、従来の良いところを伸ばし、時代に合わせた考えの下、益々充実した剣道団体を作り上げていくプロセスにあるのが現状です。

## 事業概要ご紹介

### 東京都高体連剣道専門部

東京都高体連剣道専門部は東京都高体連の規約に基づき関係団体と連携し、都内高等学校および中等教育学校後期課程における剣道の健全な発展を図ることを目的としています。

その目的を達成するため、剣道の指導者講習会や剣道大会、段級位審査会の開催を行い、その他関係団体との連絡や剣道に関する調査及び研究を行っています。

今年度は東京都内400校以上、男女合わせて3000名以上が加盟登録し、各種剣道大会や審査会に積極的に参加しています。大会は関東高等学校剣道大会や全国高等学校剣道大会、全国高等学校剣道選抜大会の予定だけでなく秋季剣道大会や支部ごとの大会、さらに形大会なども実施される予定です。段級位審査会は年間3回予定され、その他普及指導講習会や武道系部活動合同稽古会(※)なども予定しています。各行事に多くの生徒や監督の先生方が参加さ



# 支部活動報告

れ、大いに盛り上がっています。  
 昨年度行われた全国高等学校剣道大会においては、東京都代表として男子は郁文館高等学校がベスト8、女子の淑徳巣鴨高等学校が決勝トーナメントに進出するなど、全国大会でも素晴らしい活躍を見せています。上記の学校以外にも関東大会等で上位進出を果たしている学校も多数あります。今年度も多くの学校が東京都で切磋琢磨し、全



インハイ予選優勝（男子団体）



インハイ予選優勝（女子団体）

国大会等で活躍することを期待しています。

今後も東京都高体連剣道専門部は各種大会や審査会、講習会等を通じて高校生における剣道の健全な発展を図ります。

※剣道専門部加盟校によるリーグ戦形式の錬成会および初心者講習会



## 大会案内

## 寛仁親王杯 第25回剣道八段選抜大会

日時：令和7年9月6日(土) 午後2時30分開会

場所：東京武道館 主催：一般財団法人東京都剣道連盟

## 第64回東京都剣道選手権大会

日時：令和7年9月6日(土) 午前9時開会

場所：東京武道館 主催：一般財団法人東京都剣道連盟



### 東京剣連だより

第98号 (令和七年七月七日発行)

発行人 千葉 胤道

発行所 一般財団法人東京都剣道連盟

〒105-0004

東京都港区新橋四ノ二十四ノ二

TEL 〇三五四〇五一一六六

FAX 〇三五四〇五三三八〇

URL <http://www.tokyo-kendo.or.jp>

編集長 西山 貢

編集委員 松本 高明・小沢 清・柳 徹

目黒 秀治

印刷 株式会社マルチプレス

本誌の掲載記事の無断掲載および複写を禁ずる

### 連盟案内

東京都剣道連盟の  
ホームページ(HP)を  
ぜひ、ご覧下さい

フレッシュな情報を提供しております

URL <http://www.tokyo-kendo.or.jp>

東京剣連・東剣連でも見るができます

